

下関市公共施設マネジメント推進委員会（第2回） 議事録（要旨）

日時：平成27年10月19日（月） 14：00～16：30

場所：本庁舎本館増築棟6階南会議室

参加者：（委員会）杉浦会長、齊藤副会長、永尾委員、松原委員、山西委員
（事務局）小野総務部理事、内田行政管理課長、笹野行政管理課主幹、
藤井行政管理課課長補佐、魚住行政管理課主任
（傍聴者）1名

【内容】

次第1. 「公共施設等総合管理計画案について」

(1) 計画期間について

事務局) 資料に沿って説明。

→質問等なし。(委員)

次第1. (2) 基本目標について

事務局) 資料に沿って説明。

(20年間で公共施設の延床面積を30%以上縮減)

会 長) 20年間で30%以上縮減する案について、意見が無ければこの案どおりとしたい。

委 員) 会長のご意見は。

会 長) 20年間という期間は妥当な設定だと考える。50年間という自治体もあるようだが50年は長すぎると思う。30%以上の縮減は中々難しい目標と考える。財政的にはもっと縮減すべきだろうが、下関市は面積も広く、これから始める総合的な計画としては妥当と思う。

委 員) 人口の減少を根拠と言えるだろうか。具体的にどの施設を減らすのか。市の各部局でどれだけ縮減できるか検討した上で積み上げて行き、さらに負荷をかけた数字を目標とするべきではないか。

会 長) 今の意見は、個々の施設で検討し、それを積み上げていった場合にどれだけ施設を減らせるかを検討するべきということだが、市では検討されているのか。

→色々な考え方があるが、人口増加に対応して施設を整備してきたのだから人口が減少すれば、当然、施設も減らしていくという考え方である。今は個別の施設の積み上げはしていない。総合管理計画は、施設用途別に今後の方向性を定める計画であり、予定として、本計画策定後に施設評価を行い、仮称で言う「再配置計画」といった形で地域特性等を考慮しながら、具体的に検討することなどが考えられる。
(事務局)

委員) これだけ人口が減少するのであれば、施設を減らしていくのも止むを得ない。人口減も根拠になり得ると思うし、30%以上縮減は妥当と考える。

委員) 前回、市営住宅に需要があるという現状認識は甘いのではないかと感じた。30%以上縮減は、どの施設を縮減して達成するのかとなるが、中核市の市民1人当たり公共施設延床面積の平均が「3.3 m²」であるのなら、これを目標としてもよいのではないか。20年間で30%以上縮減しても、人口減少により下関市の市民1人当たりの延床面積は、「5.6 m²」が「5.1 m²」にしなければならないのであれば、本気で縮減しようとしている感じがしない。下関市は中核市の中でも突出しているのであれば、中核市平均を目標として示すのも良いと思う。下関市は、長崎市や函館市と似て山坂が多く平野が少ない。周りが海であるため周辺自治体と接点が少なく、共有できるものがなく、生産年齢人口が増えても税収はあまり増えない。企業誘致をして、法人が景気を良くしていかないと税収は伸びない。

会長) 中核市平均の「3.3 m²」を目指すのであれば、20年間では足りないと思う。今回の目標期間は20年間とし、長期的にはさらなる縮減を目指すということではどうか。この計画に具体的な根拠を盛り込むかは別とし、事務局には30%以上縮減の妥当性について確認してもらい、しかるべき時に計画を見直すことでどうか。

→これまで人口増が続く中、市民要望に応じて施設を建設してきた結果が「5.6 m²」であり、下関市は、他の中核市よりも高いレベルで、施設総量の縮減に取り組まなければならない。ただし、行政サービスはある程度の水準を維持をしていく必要がある。施設に頼っている市民もいるため、そのことも考慮し、今回の計画を市民への意識づけとし進めて行かなければならない。また、市営住宅は個別の長寿命化計画を持っているが、総合管理計画は上位計画として機能していけば良いと考えている。(事務局)

委員) 30%縮減は、意欲をもって取り組める目標なのか。目標の根拠としては、市民一人当たり延床面積の中核市平均である「3.3 m²」とすれば良いのではないのか。

委員) 縮減予定施設の目星はつけているのか。地域に密着した施設は廃止しようとしても、中々難しいと思うが。

→小中学校は適正配置計画を策定し、話を進めているが、他の施設では本当に必要なものや収益施設など様々な事情がある。各所管部局では、一部の施設では考えとしてあるかもしれないが、それらを取りまとめたものなどはない。(事務局)

会長) 計画期間を50~60年とした上で、中核市平均の「3.3 m²」を目標とし、当面は20年間で30%以上縮減とするのはどうか。

→あまりに長期の計画では現実的で無くなると考えており、実効性を持たせるため20年間としている。(事務局)

委員) 例えば10年間でとりあえず30%縮減として、10年後に計画を見直すということはできるのか。

→可能ではあるが、今回、20年という計画期間を、前期8年、中期6年、後期6年に分け、実効性を検証していくよう考えている。(事務局)

会長) この話は今日、結論を出さないといけないのか。

→次回で問題ない。今回頂いた意見を集約したものを次回に示すので、それを基にご意見を頂きたい。(事務局)

会長) では、計画期間と目標については、今回の意見を事務局でとりまとめて、次回に検討することとする。

次第1. (3) 基本的な方針について

事務局) 資料に沿って説明。

委員) 3点ほど意見を述べたい。

1点目: まちづくりという視点がない。基本方針のどこかに盛り込んで欲

しい。

2点目：PFIでは、他市に見られるように、公民連携を図るため「プラットフォーム」の設置を検討するべきと思う。

3点目：地元経済を活性化させるため、下請けに地元企業を義務付けるなど「地産地消」、「地元優先」等の取り組みを検討して欲しい。

→充分認識している。条件の中で地元企業入れることを盛り込むのは可能だと考える。民間からの意見の聞き取りも軌道に乗れば取り組んでいきたい。(事務局)

委員) 軌道に乗ればではなく、この計画を進めるにあたり、市民や民間の意見を取り込む必要があると思う。

会長) それでは、事務局は、次回までに各委員の意見を取りまとめてください。

次第1. (4) 施設用途別のマネジメント方針について

事務局) 資料に沿って説明。

委員) 公共施設マネジメントに関係ないかもしれないが、「ボートレース事業」は今後もずっと継続していくのか。他市の「オートレース事業」や「競輪事業」の二の舞になってはいけない。

→収益事業は一般会計に貢献しなければならないものであり、過去から多くの収益を一般会計に繰入してきた実績がある。現在も1千万円繰入れている。施設の性格から赤字を出してはいけないということは十分認識している。場外舟券発売所設置、電話投票など経営努力をしており当面は継続していく。(事務局)

委員) 今後、施設の統合や廃止を進めて行く中で土地を売却する機会も増えるだろうが、市の所有地の中には立地条件のよい土地があったりする。公示・公告など一部の方にしか伝わりにくい方法とは別に、広く情報が伝わる有効な発信の仕組みを考えて欲しい。

会長) 公共施設を3~5割縮減するのであれば、統廃合は避けて通れないが、施設用途別の「マネジメント方針」の記載内容がそろっていない。どこまで縮減できるかは、分野毎に異なるかもしれないが、例えば、文化施設や消防施設についてももう少し踏み込んだ表現にするべきではないか。

→頂いた意見は参考にさせて頂く。(事務局)

次第 1. (5) 本計画の管理の仕組みについて

事務局) 資料に沿って説明。

委員) 「まちづくり協議会」は、現在 17 箇所ある。地元密着の団体だと思うが、この公共施設マネジメントに関わる仕組みにしていくべきではないか。

→計画の実行段階に入ると、市民との合意形成がポイントになる。例えば、地域ごとに再配置などの計画を進める中では、「まちづくり協議会」との対話をするなどしながら進めていかなければいけないと考えている。(事務局)

委員) 「まちづくり協議会」は、まだ「菊川地区」が立ち上がったくらいの状態。立ち上がっても、すぐに機能するわけではない。各地域には、既存のまちづくりという形のものが元々ある。それをどうするのか。どういう形に各団体をまとめて行くのかまだ見えていない。

→公共施設マネジメントにまちづくりの視点を取り込む中で、従来からの自治会という団体もあり、まちづくり協議会もあり、それと民間を含めた意見を聴き取り、そういう視点を持って公共施設マネジメントを進めていかないといけない。次回までに意見としてまとめたい。(事務局)

会長) 「公共施設マネジメント」を進めるにあたり、現行の組織体系については、強化する予定はあるのか。行政管理課一課では難しいと考えられ、もっと組織形態を検討し、部局間の連携を強化する必要があると思う。

→そういう組織が必要であると認識はしている。(事務局)

次第 1. (6) その他全体を通じて

会長) 今日は、各委員から色々と意見をいただいた。下関市は中核市の中でも、施設保有量が多く、一方では合併によって行政面積が広がっているなど、中々難しい議論について、色々と意見が出たので、事務局で取りまとめたいただき、次回また議論することにする。

次第 2. 「次回開催日程について」

事務局) 次回の開催は、平成 27 年 11 月 19 日 (木) 午後 2 時 00 分から、本庁舎新館 5 階大会議室 A にて開催する。

次回の進め方については、前回と今回で頂いた意見を取りまとめた上で、総合管理計画の諮問に対する答申案ということで、まとめさせて頂きたい。